

《9月 長月》

色づく野山や名月に独自の風流を感じる季節

長月と言う名は、夜長月が語源と言われるが、稲刈月・稲熟月(いねあがりづき)が転じたという説や長雨に由来するなどとされています。秋を迎え野山の風景が変わって来る頃でもあります。四季折々の変化を楽しみ風流を大切に日本では秋の趣を愛しむ風習も多いです。

《9月のしきたり》

9月9日 重陽の節句
菊に長寿を祈る日 古来中国では最高の陽数(奇数)である9が重なる非常にめでたい日とされています。
若さを願って菊酒をのみ菊についた露で体を清める。



9月19日 彼岸入り
秋分を挟んだ7日間のお彼岸の初日。西の方角にある極楽が現世に交わることができるされ、墓参りなどの風習になった。

中秋の名月 今年9月19日
満月に供え物をして、美しさを愛でる風習。
庶民の間では、秋の豊作を祝い感謝する行事。



月見団子
月見に欠かせないものといえば月見団子。里芋や栗といった収穫物と萩やススキといった、秋の七草と共にお供えをする

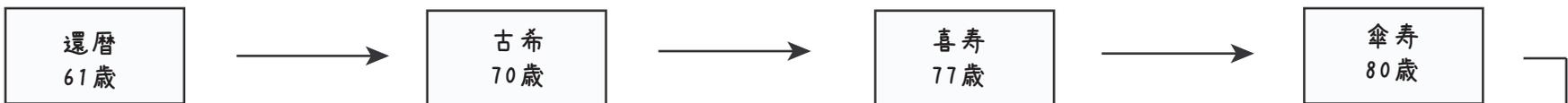
木材利用ポイントが始まりました。

最高60万円の補助金
また薪ストーブ等を購入すると最高さらに10万円



中島建設は、広島県と岡山県にエントリーしています。

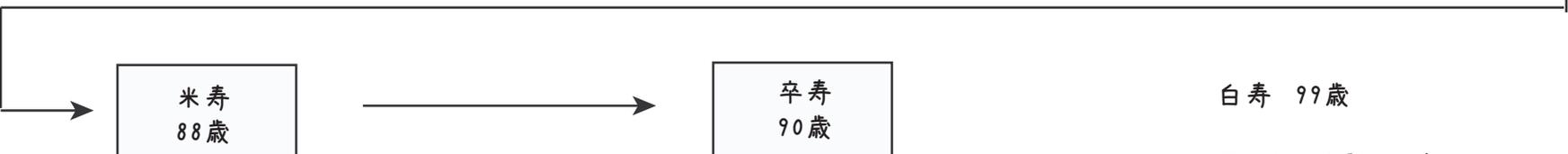
《人生のイベント》 第二の人生のスタート(数え年)



還暦 生まれた年の干支に還ることから付けられた。
古希 唐の詩人・杜甫の「人生七十古来稀なり」に由来する。
喜寿 「喜」の草体が七十七と読まれることから
傘寿 傘の略字が八十と読めることから



「赤ちゃんに還る」という意味と「赤色は魔よけになる」という古来の伝承によって、「赤い頭巾、赤いちゃんちゃんこ、赤い座布団、扇子」などを用意して、生まれ変わった気持で、さらにご長寿をという願いを込めて一族の長老の還暦を一同が集まって祝いました。



米寿 米の字を分解すれば「八十八」になることから
卒寿 卒の通用異体字が九十と読まれることから
白寿 百から一を引くと白になる



本当の意味での長寿のお祝い
金茶色のちゃんちゃんこを着る

お祝いの色 古希、喜寿は紫
傘寿、米寿、卒寿は黄(米寿は金茶色)
白寿、百寿は白